第20回ピリカふれあい歩くスキー大会

今年で20回目を数えるピリカふれあい歩くスキー大会が２月14日（日）、ピリカ遺跡ふれあい歩くスキーコースを会場に開催され、今年も町内はもとより、檜山・渡島・胆振・石狩管内より154名と多くの参加者を迎えました。

今回は第20回記念として、元オリンピッククロスカントリー選手・古澤緑さんをお招きし、前日の講演会と当日のデモンストレーションという楽しい企画が組まれました。デモンストレーションでは、本番スタート前に本部前の一周を古澤さんにチャレンジするというもので、町内外から５名の選手が代表で出場しました。古澤さんはスタート後しばらく手加減気味のようでしたが、後半からぐんぐんスピードを上げ、次々に追い越して余裕の勝利を見せてくれました。

競技の方はあいにく雪が舞う中での開催となりましたが、全員無事に競技を終えました。



▲古澤さんとのデモンストレーションの様子
（写真右端が古澤さん）

大会成績表（記録に挑戦８キロコース、今金町関係者のみ）

【小学生男子の部】
優　勝　廣田翔吾
準優勝　辻　　昇
【小学生女子の部】
優　勝　東山歩夢
準優勝　猪野屋舞
第３位　酒井涼香
【中学生男子の部】
優　勝　廣田歩武

【高校生男子の部】
優　勝　佐藤亮太
準優勝　大久保幸平
第３位　福田裕
【高校生女子の部】
優　勝　酒井
準優勝　松田千華
第３位　松尾
【19歳～39歳男子の部】
優　勝　八田雅志
準優勝　山田賢一
第３位　熊谷嘉朗

【19歳～39歳女子の部】
優　勝　太田智恵子
準優勝　安田美也子
【40歳～49歳男子の部】
第３位　庄田英明
【60歳以上男子の部】
準優勝　安藤義光

平成22年度人づくり推進会議運営事業のお知らせ

○目的

生涯学習の観点に立ち、社会教育、文化・芸術、スポーツ、地域の教育研究の充実・振興を図ることを目的に実施しようとする事業に対し、その一部を助成することを目的とします。

○助成対象団体と事業

「社会教育、文化・芸術、スポーツ、教職員で構成する今金町の関係団体等」が行う事業を対象とします。ただし、政治的・宗教的なもの及び営利を目的とする事業は対象とはなりません。

○助成額等

１団体１事業10万円以内を助成します。対象となるのは、報償費、旅費、需用費、役務費とします（飲食費は含まれません）。

○事業の申請と採択

各団体より申請された事業について、人づくり推進会議において内容を審査し、可否を決定します。申請は随時受け付けていますが、まずは教育委員会事務局までおたずねください。

平成21年度に対象となった事業（抜粋）



日本ハムファイターズトークセッション・野球教室



鶴居村との交流
（タンチョウとのふれあい）



誰でも簡単レザークラフト教室

図　書　室　だ　よ　り

142回の直木賞を受賞した佐々木譲氏は図書館が大好きとか。札幌でのお住まいは札幌市中央図書館のご近所……きっと書斎がわりにご利用されているのでしょうね。３月！新生活の時期です！身近にある図書施設を有効利用してみて下さいね。きっと、世界はますます楽しくなることうけあいです。

新着本のご案内

【一般書】

・吉野北高校図書委員会１・２	山本　渚
・居眠り磐音　江戸双紙　更衣ノ鷹（上・下）	佐伯泰英
・小太郎の左腕	和田　竜
・植物図鑑	有川　浩
・十字架	重松　清
・廃墟に乞う	佐々木譲
～寄贈～	
・頭のうちどころが悪かった熊の話	安東みきえ
・殺人山脈	梓　林太郎
・北帰行殺人事件	西村京太郎
・二十八光年の希望	辻　仁成
・きらきらひかる	江國香織

【実用書】

・やさい畑　2010春準備号	家の光協会

【児童書】

・きんのたまごにいちゃん	あきやまただし
・おくりもの	公文みどり
・もくもくやかん	かがくいひろし
・やさいだいすき	柳原良平
・くっついた	三浦太郎
・なきすぎてはいけない	内田麟太郎
・しごとば／続しごとば	鈴木のりたけ
・ちゅーちゅー	宮西達也
・ぼくのかえりみち	ひがしちから
・ゆきの日	菊田まりこ
～寄贈～	
・鉄のキリンの海わたり	あさはみゆき
・たいふうがくる	みやこしあきこ

今金「あそび」と「まなび」のどきどきキャンプが開催されました

１月12～14日（２泊３日）の日程で、東部ふれあいホール（旧青少年会館）を会場に教育委員会と今金町学力向上推進委員会の主催による『今金「あそび」と「まなび」のどきどきキャンプ』が開催されました。これは子どもたちの学力向上対策の取り組みの一つで、小学生の冬休み期間中に地域の教育力を活用し、様々なプログラムを体験し、規則正しい生活リズムや学習習慣を身につけ、親子や友達、世代間交流の輪を広げることを目的に開催されたものです。



調理実習では地域の女性会、スノーモービル試乗は北斗の皆さん、缶けりアイスクリームづくりはマザーピリカにご協力いただくなど、多くの地域の方々からご協力をいただきました。夕食後の学びタイムでは、各自が持ち寄った冬休み中の課題などに取り組みました。



また、保護者や先生を対象とした大人の学びタイムも開催しました。講師に北海道教育大学教授の鹿内信善氏をお招きし、「まなびを育む交流の輪」をテーマとして講演やワークショップを通して理解を深めました。

子どもたちは「友達と食事を作り、色々な遊びを教えてもらったことが楽しかった」などと話していました。次回は夏休み期間に開催する予定です。

行事のお知らせ

≪３月≫

６日㈯	えほんの日（10:00～幼稚園）
７日㈰	今金町女性文化祭（10:00～町民センター）
12日㈮	今金高等養護学校卒業式（10:00～同校）
15日㈪	今金中学校卒業式（9:30～同校）
18日㈭	今金幼稚園卒園式（10:00～同園）
19日㈮	今金小学校卒業式（9:30～同校）
21日㈰	美利河小学校卒業式（10:00～同校）
24日㈬	種川小学校卒業式（10:00～同校）

ロジャーのいまかね日記

NO．66

今月は、ＮＺの教育課程についてお話したいと思います。ＮＺでは、16歳（高校の中間）までは、教育費はかかりません。しかし、特別な理由などがある場合は、21歳まで無料で教育を受けることが出来ます。ほとんどの子供たちは5才から小学校に入ります。

私が学校を卒業してから、学級の呼び方が変わりました。１～８年生までが小学校、高校は９～13年生までです。私立の学校は全体の４％と、多くはありません。私立校は、資金の25%を国から受け、残りを授業料に頼っています。

学校は、ＮＺの夏休みが終わる２月から始まり、クリスマスの直前に終わります。登校日は一年に194日程です。休みは日本よりも長く、夏休みは5.5週間、春休みと冬休みは2.5週間、秋休みは2週間です。幼稚園から制服を着るのもそうですが、他にも日本と違う点があります。

大学は授業料の３割を支払い、残りは国が負担します。ほとんどの学位は取得するのに３年かかり、私立の大学は一つもありません。ＮＺでは中学校に入ることはめずらしいことです。ほとんどが小学校から高校に進学します。



これは、私が卒業したＮＺの高校です。制服はバーンサイドと同じ緑色です。

＜今月の英語＞

I went to elementary school in Sapporo.

→私は札幌の小学校に行きました

教育相談電話は、☎82－3550です。